

FAZIOLI

エレガントで洗練されたスタイル、深い詩情と豊かな表現の演奏家

夢の競演

David  
Fung

ピアノ

ソプラノ

Hiroko  
Nohara

2015.4.22 水

19:00 開演 18:30 開場 全席自由 4,000円



演奏曲目

F. シューベルト — 幻想曲 八長調 「グラーツの幻想曲」 D.605a R. シュトラウス ————— 万霊節 夜  
「さすらい人幻想曲」 D.760 H. デュパルク ————— 旅への誘い  
他 W.A. モーツァルト — 愛の神よ！ オペラ『フィガロの結婚』より  
他

会場 ▶ ピアノフォルティ株式会社 ショールーム (ファツィオリ日本総代理店) 〒105-0023 東京都港区芝浦 1-13-10  
地図はこちら ▶ <http://fazioli.co.jp/company/access.html>  
チケット申し込み・お問い合わせ ▶ [info@fazioli.co.jp](mailto:info@fazioli.co.jp)  
▶ Tel. 080-4254-3013 [hirokonohara23@gmail.com](mailto:hirokonohara23@gmail.com)



## デヴィッド フング David Fung

香港生まれ、シドニーに移住。5歳よりバイオリンを、8歳でピアノを始める。

18歳の時に医者を目指し、ニュー・サウスウェールズ大学の医学部に入学するも、音楽の道を選び、2年後に医学を中断。当時設立されたばかりの名門コルバーン・スクールに最初のピアノ専攻生として入学し、ジョン・ペリー(John Perry)に師事する。その後イェール大学音楽院でピーター・フランク(Peter Frankl)、クロード・フランク(Claude Frank)に師事。博士号取得。コンサートピアニストとしてのキャリアに徹する前には、同大学で室内楽の教鞭を取る。ハノーバー音楽演劇大学のアリエ・ヴァルディ氏にも師事。

2013年エリザベート王妃国際音楽コンクールでファイナリスト賞、2008年ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールで4位ファイナリスト賞ならびにクラシックコンチェルト賞、室内楽賞を同時に受賞。

これまでに、出身のオーストラリアの主要なオーケストラと全て共演、国際的にはイスラエルシンフォニーオーケストラ(ISO)、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団(IPO)、ロサンゼルス室内管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、セント・ポール室内管弦楽団、サンディエゴ交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、および廈門愛楽楽団(Xiamen Philharmonic Orchestra)などと共演。

世界的なコンサートシリーズやフェスティバルにも頻りに招聘されている。アスペン・ミュージックフェスティバル、イタリア、バリ市国際ミュージック、エディンバラ国際フェスティバル、ラヴィニアなどのミュージック・フェスティバルに出演しており、イタリアのバリ市国際フェスティバルでは毎年アート・ディレクターを務め、今年で4年目となる。また、ニューヨークのカーネギーホールやロンドンのウイグモア・ホール、ブリュッセルのパレ・デ・ボザール、台湾国立コンサートホールなど世界の有数のホールでコンサートを行ってきた。

これまでにYarlungレーベルから2つのアルバムを出している。最初のアルバムはリストとラヴェルでリストのソナタ短調やラヴェルのラ・ヴァルスを含む。2番目のアルバム「Evening Conversations」はソロリサイタルの実況録音でモーツァルトからタン・ダンまでの名曲が収録されている。このアルバムはアメリカン・レコードガイドで高く評価され、リン・レコーズ(Linn Records)でも2011年の上位10位にランクされた。デヴィッドは室内楽奏者としても活躍しており、アメリカの作曲家ローレンス・ディロン(Lawrence Dillon)のピアノとバイオリンの全作品をバイオリン奏者のダニエレ・ベレンと録音している。

2014/2015年シーズンではサンフランシスコ・シンフォニーオーケストラと陳其鋼(チェン・キガン)作曲のコンチェルト「Er Huang(二黄)」をラン・シュイ指揮で共演し、台湾、メルボルン、セント・ポール、イスラエルにおいてラヴェル、プーランクなどのピアノ・コンチェルトを演奏する。カナダやフィンランドにおいては絶賛を受けているモーツァルトのコンチェルトを弾く。また、香港アーツ・フェスティバルや中国や台湾でのソロコンサートツアーを始め多くのソロコンサートが予定されている。2015年4月には日本デビューを果たし、新日本フィルとチャイコフスキーピアノコンチェルト1番の共演をする。

デヴィッドはそのエレガントで洗練されたスタイル、深い詩情と豊かな表現の演奏家として広く評価されている。

詳細は[www.davidfung.com/](http://www.davidfung.com/)

## 野原 広子 Nohara Hiroko

声楽家(ソプラノ・リリコ)

福井県美浜町生まれ。

東京藝術大学音楽学部声楽科にて岡部多喜子に、同大学院修士課程独唱科にて三池三郎に師事し、イタリア古典および近代歌曲を研究。

渡部恵一郎・三澤寿喜「ヘンデルアリア選集・オペラ編」の編集に携わる。

卒業後ウィーンに渡りF. Lucasowsky、W. Moore各氏のもとでドイツリートを研究。

1990年より、イタリア・フィレンツェに移住し、声楽家M. Pananti、J. Meneguzzer、L. Sarsovsca、B. Pecchioli、の各氏に師事しベルカント唱法の技術を研鑽。指揮者・作曲家B. Rigacciのもとでイタリアオペラの実績を積む。

V. Bellini (Catania) コンクール、A. Brogi歌曲コンクール(Firenze)、Finale Ligure (Genova) コンクール入賞。オペラの分野では、ソプラノ・リリコの声を要とする『Madama Butterfly』『Turandot』『La Bohème』『Aida』『Otello』などをレパートリーとする。

ミサ曲、レクイエム、オラトリオのソリストとしても活躍する。

オーストリア・ザルツブルクでK. Ricciarelli、P. Capuccilli、G. Taddeiとともに、ザルツブルク祝祭大歌劇場《オペラ・ガラ・コンサート》に出演。フィレンツェ、カタニア、ローマ、スルモーナ、ラクイラなどヨーロッパ各地で数多くの演奏会に出演。

仙台、東京、名古屋、京都など日本各地でも精力的に演奏活動を行い、豊かな音楽性と類まれな声、完璧な技術で観客を魅了する。

2009年より、20年間住んだイタリア・フィレンツェから活動の中心を日本に移し、コンサート出演、ベルカント奏法の指導を行うと同時に、コンサート・イベント企画、審査員、エッセイストなどとしても精力的に活動を続けている。

2010年より、小浜市『第九』のソリスト、

2013年より、福井県音楽コンクール審査員。2015年東京国際声楽コンクール審査員。

中日新聞のエッセイ「お話をたまたまばこ」で3年間にわたり日本人の視点からイタリア文化・習慣を軽妙なタッチで紹介している。ラジオ・テレビにおいても人気のパーソナリティーである。

2012年にオープンした美浜町生涯学習センターなびあすにて音楽事業企画アドバイザーを務め、2015年1月には同ホールに「第14回ルービンシュタイン入賞者ガラコンサート」を招聘し大好評を得る。

